

<<高分解能 X 線回折装置の遠隔操作について>>

高分解能 X 線回折装置は令和3年10月から遠隔操作ができるようになりました。
遠隔操作には『windows リモートデスクトップ』というソフトウェアを使用します。
本ソフトウェアは、windows Pro 版の OS に標準でインストールされています。

※本ソフトウェアを使用すると、高分解能 X 線回折装置の制御パソコンのデスクトップ画面が、自分のパソコン上に現れますので、実験室から離れた場所（自分の研究室や自宅等）で

- ・ステージの校正
 - ・測定プログラムの修正、実行、進行状況の確認、停止
 - ・測定データの参照、解析
- が可能となります。

※制御パソコンへの接続には、ログイン情報やアカウントが必要となります。まず設備管理者（内田 uchida@uec.ac.jp, 田尻 ttajiri@uec.ac.jp）に連絡してください。

※アカウントを作成後、設備管理者がアカウントへログインするために必要な情報（パスワード等）を教えます。

<<遠隔操作のルールについて>>

(1) 遠隔操作をする時間帯は必ず設備予約システムで設備予約をしてください。

(2) 遠隔操作でサンプル測定を行う場合、自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生に、パソコンと設備本体の電源の On/Off、冷却水のバルブの開閉、光学部品と試料のセッティング等を行ってもらうようにしてください（上記下線のサポートを行う人を、以下”スーパーユーザ”と称します）。

※他研究室のユーザのためにスーパーユーザの仕事をしてくれた人には、研究設備センターから時間単位で謝金をお支払いします。

※自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生にスーパーユーザの仕事を依頼するのは、遠隔操作を行うユーザ自信が行ってください。

※スーパーユーザの仕事を依頼した場合は、uchida@uec.ac.jp および ttajiri@uec.ac.jp まで連絡をお願いします。

(3) 遠隔操作でプログラムの参照・修正のみを行う（実行はしない）場合も、必ず設備予約システムで設備予約をしてください。（この場合、サポートしてくれた人に謝金は出ませんのでご注意ください。）